

## 岐阜高専 TOPICS

### 『岐阜高専が参与会を開催』

岐阜高専では、1月15日（月）に「平成18年度参与会」を開催した。

本年度は、10名の参与の内4名が交替され新たな顔ぶれとなったため、始めに校長から参与会の趣旨について説明が行われた後、議事へと進行した。議事には、本校の中期計画の5年間のロードマップを作成し資料としたためボリュームがあり説明及び質疑に時間が掛り予定時間を大きく超過することとなった。

今回、特別に研究成果のデモを実施した。これは、本校の亀山教授（一般科目）が全国国公私立高等専門学校における教育教員研究集会で文部科学大臣賞を2年連続で受賞したため、受賞の教育方法（英語）を披露したもの。参与からは、今まで机上での説明を受けたことはあるが、実際の授業方法をパソコン及びプロジェクターを使用し体験できたため、岐阜高専が更に理解できたという意見があった。

また、休憩時間には榊原校長の趣味の一つである抹茶を自ら点て、参与全員に振る舞われ、短い時間ではあったが、和やかな一時を過ごされた。



亀山教授による教育方法のデモ



参与に抹茶を点てる榊原校長（右端）